

カンボジア 2008 年人口センサス確報結果

結果の概要

1. カンボジアの総人口は 1340 万人

2008年3月3日現在におけるカンボジア全国の人口は、1340万人で、10年前の1998年と比較して、196万人増、1年間に換算すると1.54%増となっている。

男女別にみると、男性が652万人で、100万人増（1.67%増）、女性が688万人で、95万人増（1.49%増）と、女性より少ない男性の方がより多く増加している。これにより、ポルポト政権崩壊直後の1980年には、86.1まで低下した性比が、94.7まで回復してきている。（表1参照）

○新しい行政境界に基づく結果

本確報結果は、2009年1月29日に公布された “Sub-Decree on Number of Councilors of Phnom Penh municipality, Provinces, Municipalities, Districts and Khans for the 1st Mandate” に基づく行政境界、すなわち、新行政境界による結果である。（National Report on Final Census Results, General Population Census of Cambodia 2008、以下「National Report」という。P271参照）

○選挙人名簿上の人口との違い

選挙人名簿上の人口は、登録地における18歳以上人口である。したがって、現在住んでいる Commune Office に登録されているとは限らないし、登録していない場合には、カウントされていない。一方、2008年人口センサスによる人口は、2008年3月3日午前零時現在で居住していた場所で調査したすべての人口である。

2. 都市部の人口の割合が約2割まで上昇

都市部・郡部別にみると、都市部の人口は261万人で、1998年と比較して、52万人増（2.21%増）となっており、また、総人口に対する割合も、18.3%から19.5%に上昇している。このことは、カンボジアにおいても都市化が徐々に進行していることを示しており、開発が進んでいることがわかる。一方、郡部は、減少しつつあるものの、未だに8割以上を占めている。

都市部の人口を男女別にみると、男性が126万人で、24万人増（2.08%増）、女性が136万人で、28万人増（2.34%増）と、男女とも増加している中で、女性の方が多く、また、増加率も高いことがわかる。（表2参照）

○都市部 (Urban Area) の定義 (National Report P7 参照)

以下の3つの要件を満たす Commune を都市部としている。

- (a) 人口密度が 200 人/km² 以上
- (b) 男性の農業従事者の割合が 50%未満
- (c) 総人口が 2,000 人以上

3. 子どもの割合が低下、高齢者の割合は上昇

年齢4区分別にみると、15歳未満、すなわち、こどもの割合が、42.8% (1998年) から 33.7% (2008年) へと、出生率の減速とともに、9.1ポイントも低下している。一方、65歳以上、すなわち、高齢者の割合は、3.5% (1998年) から 4.3% (2008年) へと、平均余命の伸長とともに徐々に上昇している。このことは、カンボジアの人口動態が、従来の多産多死型から少産少死型へと徐々に転換しつつあることを示している。(表3、図3-1、図3-2、National Report P37, P39 参照)

4. 識字率が約8割に上昇

7歳以上人口のあらゆる言語に対する識字率をみると、62.80% (1998年) から 78.35% (2008年) へと、15.55ポイントも急速に上昇している。また、男女別にみると、2008年には、男性が 83.99% (12.96ポイント増) で、女性が 73.10% (17.75ポイント増) と、特に女性の識字率の改善が著しい。このことは、カンボジアにおいて教育の普及が順調に進んでいることを示している。(表4、National Report P49 参照)

5-1. 就業者数が 200 万人以上増加

5歳以上就業者数 (産業が不詳の者を除く) をみると、482万人 (1998年) から 693万人 (2008年) へと、211万人増、1年間に換算すると 3.63%増と、就業者が急速に増加している。このことは、カンボジアの経済が、急速に成長しつつあることを示している。また、男女別にみると、2008年には、男性が 339万人 (104万人増、3.68%増) で、女性が 354万人 (107万人増、3.58%増) となっており、男性の増加率の方がやや高くなっている。(表5-1、National Report P83 参照)

5-2. 第2次産業の割合が上昇

5歳以上就業者数 (産業が不詳の者を除く) の産業別構成比みると、2008年には、第1次産業 (農林漁業) が 72.30%、第2次産業 (製造業、建設業等) が 8.54%及び第3次産業 (サービス業等) が 19.16%となっている。1998年と比較すると、第1次産業が 5.23ポイント減、第2次産業が 4.30ポイント増及び第3次産業が 0.93ポイント増となっており、経済成長の基盤となる第2次産業の割合が急速に上昇していることがわかる。一方、第1次産業の割合は低下しつつあるものの、未だに7割以上を占めている。また、男女別にみると、女性が第2次産業で 5.52ポイント増、第3次産業が 2.49ポイント増となっており、女性が近年のカンボジアの経済成長に大きな役割を果たしていることがわかる。(表5-2、National Report P83 参照)

6. クメール語を母語とする人口が9割超

2008年のカンボジア総人口を母語別にみると、クメール語が96.31%と支配的な割合を占めており、次いで、ベトナム語が0.54%、ラオ語が0.14%、中国語が0.05%、タイ語が0.02%で、このほか、少数民族の言語は、合わせて2.86%となっている。また、クメール語以外の言語は、合わせて3.69%で約50万人となっている。このうち、少数民族の言語を除くと、僅か0.83%で約11万人のみとなっている。（表6、National Report P29 参照）

7. M字型ではない女性の労働力人口比率

日本の場合には、女性の労働力人口比率を縦軸とし、年齢を横軸とした折れ線グラフを作成すると、30歳代前半を底としたM字型となっている。これは、日本では、30歳代前半の女性が育児のために、一時的に就業しないことが多いためであるが、カンボジアでは、その傾向が見られない。（図7、National Report P63 参照）

【参考】

カンボジア 2008 年人口センサス確報結果全国編報告書の原文（英語版）は、以下のページで参照可能である。

http://www.stat.go.jp/english/info/meetings/cambodia/final_br.htm

表1 カンボジアの男女別人口、人口増加率及び性比 — 全国(2008年、1998年)

人口、人口増加率	総数	男	女	性比 2)
2008年人口 (人)	13,395,682	6,516,054	6,879,628	94.7
1998年人口 (人)	11,437,656	5,511,408	5,926,248	93.0
人口増加数 (人)	1,958,026	1,004,646	953,380	-
人口増加率 1) (%)	1.54	1.67	1.49	-

1) 1998年人口の総数に、調査できなかった地域の推計人口 45,000 人を含めて算出した。

2) 女性100人に対する男性の数

表2 カンボジアの都市部・郡部、男女別人口及び人口増加率等 — 全国(2008年、1998年)

人口、人口増加率等	総数	男	女
2008年人口 (人)	13,395,682	6,516,054	6,879,628
都市部 (人)	2,614,027	1,255,570	1,358,457
郡部 (人)	10,781,655	5,260,484	5,521,171
1998年人口 (人)	11,437,656	5,511,408	5,926,248
都市部 (人)	2,095,074	1,020,264	1,074,810
郡部 (人)	9,342,582	4,491,144	4,851,438
人口増加数 (人)	1,958,026	1,004,646	953,380
都市部 (人)	518,953	235,306	283,647
郡部 (人)	1,439,073	769,340	669,733
人口増加率 1) (%)	1.54	1.67	1.49
都市部 (%)	2.21	2.08	2.34
郡部 (%)	1.43	1.58	1.29
2008年構成比 (%)	100.0	48.6	51.4
都市部 (%)	19.5	9.4	10.1
郡部 (%)	80.5	39.3	41.2
1998年構成比 (%)	100.0	48.2	51.8
都市部 (%)	18.3	8.9	9.4
郡部 (%)	81.7	39.3	42.4

1) 1998年人口の総数に、調査できなかった地域の推計人口 45,000 人を含めて算出した。

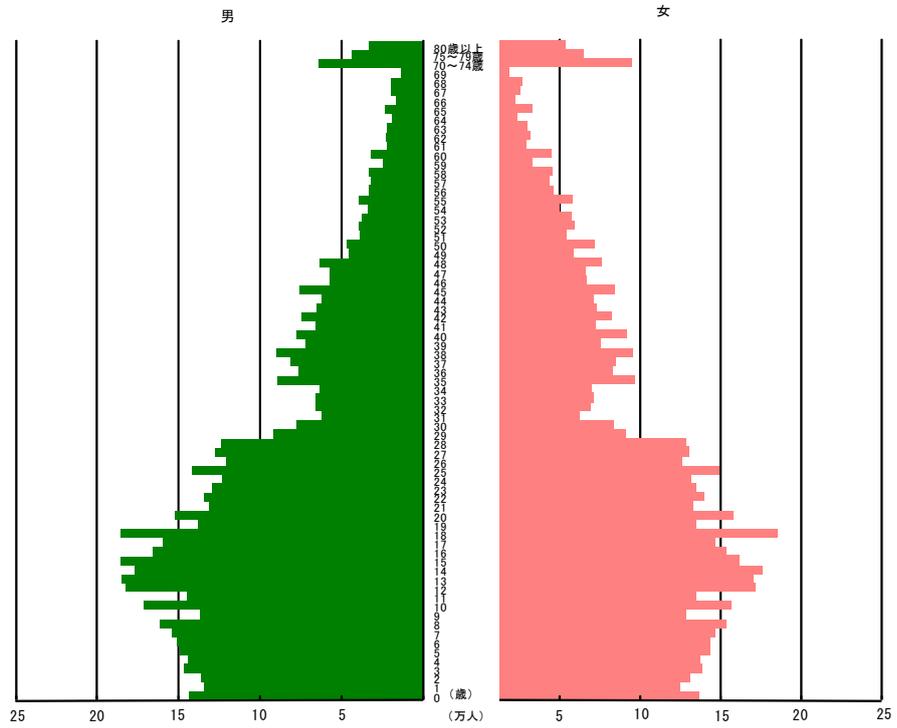
表3 カンボジアの年齢4区分別 人口構成比 — 全国(2008年、1998年)

年次	人口構成比				
	総数	15歳未満	15-49歳	15-49歳	65歳以上
2008年 (%)	100.0	33.7	53.4	8.6	4.3
1998年 (%)	100.0	42.8	46.9	6.8	3.5
差 (ポイント)	-	-9.1	6.5	1.8	0.8

National Report P39, Table 3.5 参照

図3-1 カンボジア2008年人口ピラミッド

(2008年3月3日現在)



National Report P37, Table 3.4 参照

図3-2 カンボジア1998年人口ピラミッド

(1998年3月3日現在)

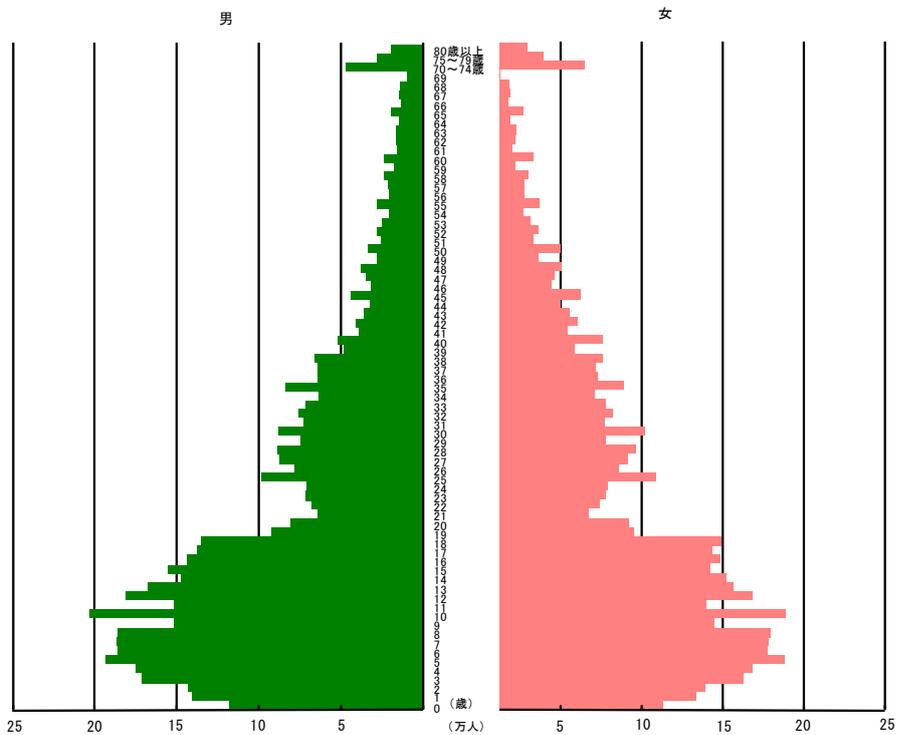


表4 カンボジアの男女別識字率(7歳以上人口) - 全国(2008年、1998年)

年次	7歳以上人口の識字率(あらゆる言語に対する)		
	総数	男	女
2008年 (%)	78.35	83.99	73.10
1998年 (%)	62.80	71.03	55.35
差 (ポイント)	15.55	12.96	17.75

National Report P49, Table 4.1 参照

表5-1 カンボジアの男女別 5歳以上就業者数等 - 全国(2008年、1998年)

年次	5歳以上就業者数 1)		
	総数	男	女
2008年 (人)	6,934,891	3,392,400	3,542,491
1998年 (人)	4,823,188	2,347,929	2,475,259
増加数 (人)	2,111,703	1,044,471	1,067,232
増加率 2) (%)	3.63	3.68	3.58
2008年構成比 (%)	100.00	48.92	51.08
1988年構成比 (%)	100.00	48.68	51.32

1) ただし、産業が不詳の者を除く。

2) 1年間に換算した5歳以上就業者の増加率。

National Report P83, Table 5.12 参照

表5-2 カンボジアの産業3区分、男女別 5歳以上就業者の構成比 - 全国(2008年、1998年)

年次	5歳以上就業者数 1)		
	総数	男	女
2008年 (%)	100.00	100.00	100.00
第1次産業 (%)	72.30	69.37	75.11
第2次産業 (%)	8.54	8.06	9.00
第3次産業 (%)	19.16	22.57	15.89
1998年 (%)	100.00	100.00	100.00
第1次産業 (%)	77.53	71.65	83.12
第2次産業 (%)	4.24	5.03	3.48
第3次産業 (%)	18.23	23.32	13.40
差			
第1次産業 (ポイント)	-5.23	-2.28	-8.01
第2次産業 (ポイント)	4.30	3.03	5.52
第3次産業 (ポイント)	0.93	-0.75	2.49

1) ただし、産業が不詳の者を除く。

National Report P83, Table 5.12 参照

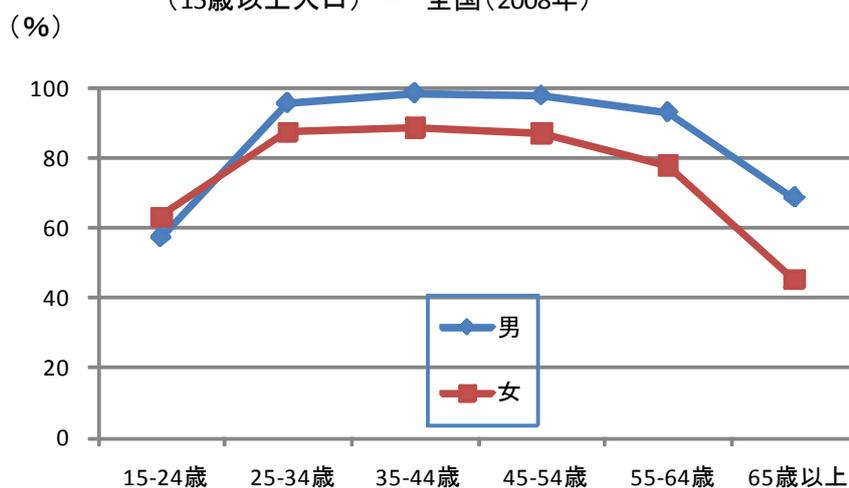
表6 カンボジアの母語、男女別人口及び割合 - 全国(2008年)

母語	(人)			(%)		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	13,395,682	6,516,054	6,879,628	100.00	100.00	100.00
クメール語	12,901,381	6,271,702	6,629,210	96.31	96.25	96.36
ベトナム語	72,337	37,142	35,774	0.54	0.57	0.52
中国語	6,698	3,910	2,752	0.05	0.06	0.04
ラオ語	18,754	9,122	9,631	0.14	0.14	0.14
タイ語	2,679	1,303	688	0.02	0.02	0.01
少数民族言語	383,117	186,359	196,757	2.86	2.86	2.86
その他	10,717	5,864	4,816	0.08	0.09	0.07
クメール語以外	494,301	243,700	250,418	3.69	3.74	3.64
うち少数民族を除く	111,184	57,341	53,661	0.83	0.88	0.78

注) 網掛けの部分は参考値。

National Report P29, Table 2.12 参照

図7 カンボジアの年齢5歳階級、男女別労働力人口比率 (15歳以上人口) - 全国(2008年)



National Report P63, Table 5.3 参照